

強まる学生側の志望度



中屋氏

観点から見ても、医薬品開発における CRO の位置づけは重要視されていると考えています。

——2013 年度の新卒採用に向け、どういったスタンスで臨みますか。

井上 新卒採用に傾注し、着実に増やしていく方針です。当社もともと、新卒を大事に育てていくスタンスですので、そこをもっと強く打ち出していこうと考えています。もう 1 つ、当社の場合はモニターだけでなく、データマネジメント (DM)、統計解析、システム担当者等も採用していますが、特に薬学部の学生は、約 7 割がモニターを希望される傾向は変わっていません。

ただ、長いスパンで上流から下流まで開発業務の流れを説明すると、「こんな仕事があったと知らなかった」という声を聞きます。そうした CRO 業務の多様性についても学生に話していきたいと思っています。当社は学生に対し、就「職」であって就「社」ではないと言っています。

ぜひ、いろんな職種を知ってもらい、自分は何か合うのか仕事を選び、その後に会社を選んでほしいと思っています。やりたい仕事を自分自身でよく整理されてから会社説明会に臨んでほしいですね。

中屋 CRO 業界も成熟期に入ってきたところで、今後は人材育成に力を入れていくことが、各社の生き残り策の 1 つになっています。当社としても、当然のことながら人材育成に力を入れ、新卒採用も定期的に行っていく方針です。薬学部の学生については、以前に比べ業界に関する見識が深まってきているので、就職活動時の企業研究はもちろんのこと、会社説明会等では先輩社員から直接話を聞く機会を通じて、職種に対する理解をさら

に深めていってほしいと思います。

——CRO 業界として求める人材像についてはいかがですか。

井上 6 年制の薬学生は、5 年次に実務実習を経験されて、しっかりと実務を積んでおり、企業としても高い期待を持っています。一方、求めるスキルや知識という面では、このほかにビジネスマナーやコミュニケーションスキルなど、社会人として備えてほしい能力は業界問わず同じです。特に薬学部の学生を見ていると、大学の研究室で長期にわたり、研究や勉強をされ、さらに国家試験対策など受験勉強も長いので、外に触れる機会が少ないように感じます。できれば、今のうちに少しずつ外に視野を広げる訓練をしていただき、新聞を読むなどして、他の業界にも興味を持ってほしいです。

中屋 12 年度採用で感じたのは、実務実習を経験している学生の方は、面接時に自分の考えや思いを伝えられているような印象を受けました。実務実習を就職活動の第一歩と捉えれば、臨む姿勢も変わってくるのではないかと思います。

——会社選びについてアドバイスをお願いします。

井上 CRO の主要業務は、基本的に各社ほとんど差はないと思っています。ただ、その中に各社の工夫が凝らされているので、ぜひ先輩社員などから生の声を拾ってほしいと思います。各薬科大学から、ほとんどの CRO に先輩が就職しているの、体験談を聞い

てほしいですし、われわれにも遠慮することなく質問をどんどんしてほしいですね。

——入社後の研修体制、キャリアパスについてはどうなっていますか。

中屋 当社は、モニタリング業務が中核業務となりますので、採用もほぼ大半は臨床開発モニターです。入社後は導入研修として、ロールプレイを中心としたバーチャルモニタリング研修を受けていただき、研修終了後に配属となります。配属後の OJT については、先輩社員がモニタリングに同行するなど、徐々に足元を固めていくようなスタイルです。そこから先は、それぞれに成長の差が出てくると思いますが、向上心を持っている人は早く独り立ちできますので、様々なプロジェクトや領域で経験を積み重ね、臨床開発のプロフェッショナルに向かって頑張ってほしいと思います。

井上 当社の場合は、職種別採用という方式をとっていて、モニターをはじめ、DM、統計解析、EDC 開発、また少数ではありますが、安全性管理や信頼性保証まで、新卒採用の枠を広げています。将来の活躍の場をより多く設けていきたいと考えています。

またキャリアプランについては、導入研修で全職種を経験してもらい、モニターも DM や統計解析の基礎などを学び、開発全体の流れが分かるような研修を行った後に、現場に配属となります。当社は 1 年間、新人 1 人に対して、3~4 年目の社員がトレーナーとして育成する体制をとっています。

変革期の今がチャンスの時

——最後に CRO の将来性を含め、メッセージをお願いします。

保良 グローバル試験が活発になってきていて、おそらく今後、CRO 業界でもグローバルで勝負するチャンスが広がる一方で、治験効率化の流れや変化に対応していかなければいけません。そういう意味では、業界全体が変革期にあるとも言え、それは業界・CRO 各社、そして社員にとっても決してピンチではなく、むしろチャンスだと考えています。学生の皆さんにとっても活躍のチャンスが広がっていると言えるでしょう。また、CRO 各社とも独自戦略で新しいチャレンジを行い、業績を拡大していこうと考えているので、非常にエキサイティングな経験もできる

と思います。

井上 私も同感で、まさに CRO は変革期の真っ只中にあります。将来的にも、様々なビジネスの可能性を秘めていると思いますので、学生自身も待ちの姿勢ではなく、積極的な姿勢で CRO を目指してほしいです。

中屋 CRO はサービス業ですので、まだまだ事業形態の拡大が見込まれる業界です。CRO 各社は今後、いろいろな形で事業展開していくと思いますので、可能性の広がった非常に面白い業界だと言えます。新卒における就職活動は、人生で 1 回きりです。辛いこともあるかと思いますが、積極的に前に出て、自分の将来のためにも悔いの残らないように活動してください。

「第十六改正日本薬局方」に準拠した、5年ぶりの全面改訂！！

全薬剤師
必携



第十三改訂

調剤指針

指針部分と解説部分に分けた構成に変更。
解説部分では多種多様な現場を考慮し、
わかりやすく解説。

改訂のポイント

- 調剤の概念を明確にし、指針・解説・付録の3部構成。
- 平成23年4月に改正された「第十六改正日本薬局方」に準拠。
- 内服薬処方せんに記載方法にも対応。
- 薬学教育6年制の実務実習テキストにも対応。

従来の医療体系から医療従事者の協働・連携によるチーム医療の推進、医薬品の適正使用への関わり、患者への適切な情報提供、医薬品安全管理責任者の設置や医薬品の安全使用のための業務手順書の作成など、薬剤師を取り巻く環境が大きく変化していることを受け、5年振りに全面改訂。

日本薬剤師会 編集

B5判 500頁 定価 5,040円 (税込)

薬事日報社

書籍のご注文は、オンラインショップ (<http://yakuji-shop.jp/>) または、書籍注文FAX03-3866-8408まで